

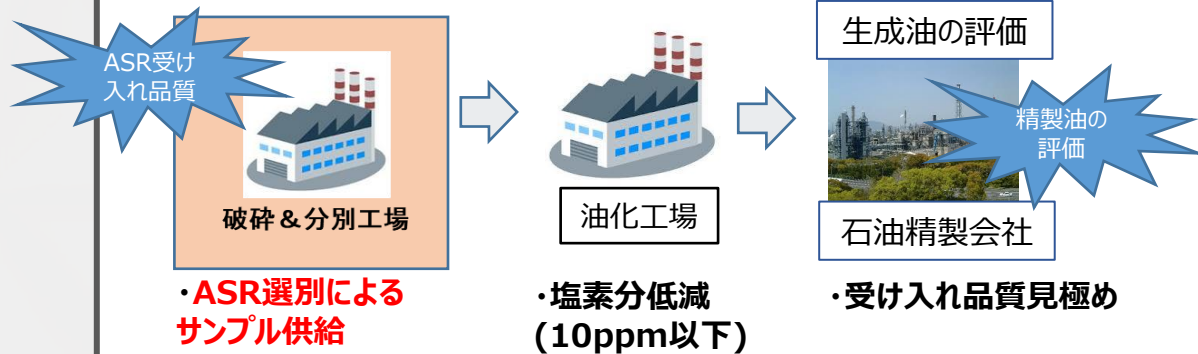
題名	自動車廃プラスチック油化技術の開発		
実施者	環境エネルギー	期間	2022/4~2023/3

22年度の取組と結果（事業化に向けた検証）

<背景と課題>

2020年度のASR油化検証の中で明らかになった課題を解決するために以下の施策を行った。

- ・高、中、低品質ASRの受け入れ品質見極め(どこまで事前選別する必要があるかの見極め)
- ・経済性評価



<受け入れ品質見極め>

ASR (自動車廃プラスチック) is shown before and after desalting. The '脱塩前' (Before desalting) sample is dark and contains a lot of salt, while the '脱塩後' (After desalting) sample is clear and yellow.

塩素濃度受け入れ基準	高品質	中品質	低品質
<10ppm	0ppm	0ppm	2ppm

ASR

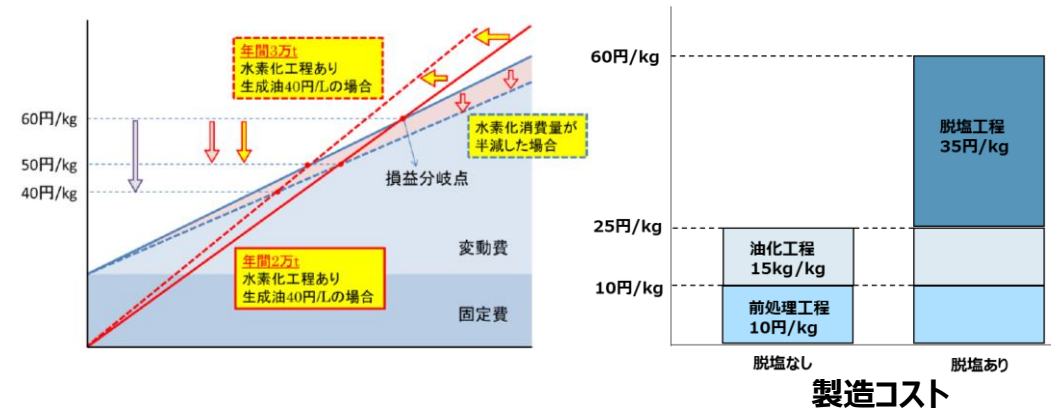
脱塩前

脱塩後

- ・高・中・小品質ASRはすべて受け入れ品質可能な品質まで油化・精製できた。
- ・ASR中に禁止物質が含まれている可能性があり、無害化検証の必要がある。

<経済性評価>

- ・経済性評価の結果、製造コストを最適化することにより事業化が可能
- ・課題として脱塩工程がコストを押し上げる一因となっている。



残課題

- ・製造コストが高い(脱塩工程がコストの53%を占める)
- ・ASRに現在使用禁止物質が含有している可能性がある
- ・ケミカルリサイクルによるCO2定量化ができていない

23年度取り組み（事業化に向けた検証）

- ・次年度は以下の取り組みを行う。
- 禁止物質無害化検証
- 製造プロセスの最適化
- CO2の定量化

<取組体制>

環境エネルギー、太陽石油株式会社、一般社団法人サステイナブル経営推進機構

日産自動車材料技術部 美藤 洋平、端野直輝、森 直樹